



羽鳥課員

今回は「清掃の五原則」について紹介します。
 清掃の五原則は、清掃における基本的な考え方です。

清掃の五原則

清掃の五原則とは、清掃サービスを提供するための5つの基礎になります。
 五原則を理解することで安定した清掃品質と安全で効率的な作業につながります。

五原則って何だろう??



① 材質を知る



【主な材質の種類】

材質にはさまざまな種類があるため、
 それぞれの特性を理解することが大切!!

- 大理石……酸に弱い
- ステンレス……キズがつきやすい

- 床の代表的な材質
- ①石材
 - ②塩化ビニル
 - ③カーペット
 - ④フローリング (木床)

- 壁・設備の代表的な材質
- ①ステンレス
 - ②陶器
 - ③ガラス
 - ④プラスチック



石材

② 汚れを知る



【主な汚れの種類】

汚れの特徴を理解し、適切な方法で清掃することが大切!!

- 粉状物質の汚れ……拭き取りや吸引で除去
- 油性物質の汚れ……洗剤を用いて除去

- ①粉状物質の汚れ (ほこり・土砂)
- ②水溶性物質の汚れ (雨水・飲食物)
- ③油性物質の汚れ (油・皮脂)
- ④かさ高固着物 (尿石・水垢)
- ⑤しみ汚れ (水溶性・油性のしみ)

③ 洗剤を知る



【洗剤使用上の3要素】

「酸性」「中性」「アルカリ性」の3つの液性
 それぞれの特徴を知ることによって効率的に汚れが落ちる!!

- 酸性……尿石や水垢の除去
- 中性……日常清掃全般 (材質への影響力が少ない)
- アルカリ性……油汚れの除去

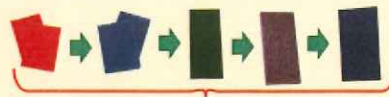
- ①使用濃度…メーカー推奨濃度で使用する
- ②使用温度…洗浄力がUPするのは40℃前後
- ③反応時間…洗剤が汚れに反応するまで時間を置く

④ 作業方法を知る



パッドの色分け

※メーカーによって異なる場合がある



※すべて研磨剤を含む
 (右に行くほど、研磨力が強い)

【効率的な作業をするポイント】

作業方法を知ることによって安全で効率がよく
 効果のある清掃用具を選定できる!!

- キズがつきやすい材質…白パッドを使用

- ①奥から手前
- ②高いところから低いところへ
- ③狭いところから広いところへ
- ④きれいなところから汚れているところへ

⑤ 保護膜をつける



保護膜は損傷や汚れを防ぐ効果が見込まれるため、
 きれいな状態を長く保つことができる!!



ほこりや汚れを除去するためには、汚れている材質は何か、そこにどのような汚れが付着して、材質をキズつけずに除去するにはどのような洗剤を使用し、かつどのような資機材や作業方法を用いるか、またできるだけ汚れが付着しないようにするにはどうすればよいのか、といったことを考えることが大切です。

